

記載例・記載参考（シンガポール向け）

（別記様式2）

輸出される食品等に関する確認書

年 月 日
（作成年月日を記載）

〇〇 〇〇 御中

住所 〇〇県△△市□□町 1-2-1
名称 〇〇〇株式会社

押印

担当者部署名：△△部□□課
担当者氏名：〇〇 〇〇
連絡先：000-000-0000

海外向けに輸出される食品等に関する証明書の申請にあたり、下記の事項が事実と相違ないことを確認しました。

記

（以下の事項のうち必要な項目について、以下のとおり記述する。）

商品名：〇〇緑茶

確認項目		確認事項	
1	数量、重量、包装形態	1箱：200g×60袋、15箱、180kg、段ボール	
2	生産・加工施設	名称	〇〇社〇〇工場
		都道府県・国名	□□県
		所在地	△△市〇〇町 1-2-1
		製造所固有記号	*****
3	原料	名称	（記載不要）
		産地	（記載不要）
		使用割合	（記載不要）
4	生産・加工年月日	（記載不要）	
5	製造ロット番号	（記載不要）	
6	流通ルート	製品	（記載不要）
		原料	（記載不要）
7	品種等	品種	（記載不要）
		ほ場（所在地）	（記載不要）
		収穫期（年産）	（記載不要）

※ 製造所固有記号は、現品に表示がある場合に記載し、表示がない場合は「N/A」と記載するものとする。

※ 原本については、証明書の発行日より一年間、申請者が保管するものとする。

以上

【別記様式2 記載参考】

輸出される食品等に関する確認書（別記様式2）は、製造者が作成することを基本としますが、取引先または申請者本人が作成することも可能としています。（必要に応じてその他の確認書類を要求する場合があります。）

1. 提出者（作成者）と提出先（宛先）

提出者と提出先の組み合わせには以下の3パターンがあります。

（1）生産者・製造者 → 申請者

（2）流通業者（生産者・製造者に確認し作成） → 申請者

※輸出する商品を購入した取引先となります。なお、原料を購入した取引先は該当しません。

※流通業者と申請者の関係が確認できる書類が必要なので、納品書等を提出してください。

（3）申請者（生産者・製造者に確認し作成） → 申請先地方農政局長等

2. 記載方法

- ・提出者（作成者）の押印を忘れずにしてください。
- ・記載内容は日本語で構いません。
- ・記載事項は申請入力の内容と一致します。

3. 記載項目

- ・商品名：1商品ごとに記載します。
- ・数量、重量、包装形態：1梱包あたりの入り数、1商品の重量、輸出梱包数、輸出重量を記載します。
- ・生産・加工施設（名称）：工場名がある場合は工場名まで記載します。
- ・生産・加工施設（所在地）：番地まで記載します。